

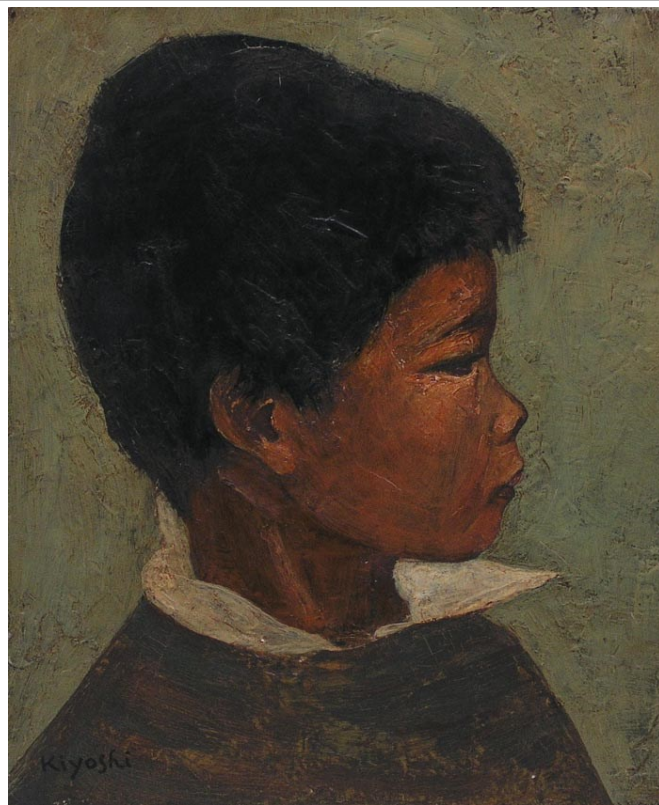
## 1. ごあいさつ

総務幹事 北條 洋 (福島県立医大会津医療センター病理診断科 (兼) 同医学部病理病態診断学講座)

第65号では雪解けの便りをお伝えしましたが、季節の移り変わりは早く梅雨の頃となり、まもなく猛暑であろう夏を迎えようとしています。私の診断室の窓からは縦貫道が邪魔するものの整然と植えられ成育中の緑の稲苗が爽やかな風にそよぐ田んぼが広がり、米どころ会津の地にも初夏の訪れを知らせています。会員の皆様の地域ではどんな初夏を迎えていますでしょうか。

2015年、4月30日(木)、名古屋市で開催された第104回日本病理学会総会1日目の当研究会主催のコンパニオンミーティング「小児リンパ腫」では約35名の病理学会会員の皆様に参加頂き、無事終了することが出来ました。これもひとえにご講演賜りました鶴澤正仁先生と藤本純一郎先生の最新の知見を集めた充実した内容のすばらしい講演、並びにオーガナイザーを務めた埼玉県立小児医療センター岸本宏志先生と成育医療研究センター中澤温子先生のご尽力のおかげと心より感謝申し上げます。鶴澤正仁先生には日本(JPLSG)における成熟B細胞由来腫瘍に対するB-NHL03研究、リンパ芽球性リンパ腫に対するALB-NHL03/LLB-NHL03研究、欧州非ホジキンリンパ腫研究グループとの共同で行った未分化大細胞型リンパ腫に対するALCL99国際研究の成果について解説いただきました。藤本純一郎先生は小児悪性リンパ腫の種類、頻度、病理学的特徴について解説され、さらにバーキットリンパ腫とびまん性大細胞型リンパ腫における日本(JPLSG)とヨーロッパ(BFM)との病理学的相違点について話題提供いただきました。後者の再レビュー結果については中澤温子先生がJPLSGリンパ腫中央病理診断委員会を代表して、第55回日本リンパ網内系学会総会(岡山)、PCRIM国際シンポジウム(イタリア)で発表する予定です。当研究会では今後もコンパニオンミーティングの主題を小児期腫瘍、非腫瘍性疾患から交互に選び、臨床と病理の専門家を迎え解説していただくシリーズを企画したいと考えております。

第35回日本小児病理研究会学術集会は2015年8月29日(土)、成育医療研究センターを会場に松岡健太郎先生(国立成育医療研究センター臨床検査部/小児血液・腫瘍研究部)のお世話で開催されます。主題はインプリンティング異常症と胚細胞腫瘍、教育講演はインプリンティング異常症(鏡雅代先生 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部)、シンポジウムは胚細胞腫瘍の臨床と病理となっております。多数の会員の皆様の出席をお願いします。詳細は当会報をご覧ください。



総務幹事に推挙いただき2年が経とうとしております。総務幹事を引き受けるにあたり会報に「若手人材育成の強化」、「診断・研究水準の向上、均てん化」、「広報活動の充実」の3点について取り組みたいと述べさせていただきました。しかし、何一つとして取り組むことができず、総務幹事としては失格で会員の皆様に申し訳なく思っています。小児病理研究会発展のため強力なリーダーが必要です。

2015年、6月20日(土)日本小児がん研究グループ(JCCG)の総会、設立記念式典・記念講演会が開催されました。JCCG専門委員会に組織された病理診断委員会は小児腫瘍組織分類委員会の中央病理診断委員会が担い、委員長に中澤温子先生が就くこととなりました。当会員の皆様とも情報を共有して行きますのでよろしく願います。

最後にこどもを描いた好きな作品をご覧いただきたいと思います。1985年、福島清「少年」、F3、キャンバスに油彩です。モデルの少年の名は剛一(こういち)と言います。少年期の心の内面を映し出すかのような精神性の高い作品で、少年の強い意志を感じます。楽しんでいただけると嬉しいです。

## 2. 第35回小児病理研究会学術集会

第35回日本小児病理研究会学術集会を下記の通り開催いたします。

開催日：2015年8月29日（土）9時～15時（予定）

場所：国立成育医療研究センター教育研修棟

（案内図は4面に掲載してあります）

世話人：松岡健太郎（国立成育医療研究センター臨床検査部／小児血液・腫瘍研究部）

参加費：3,000円

主題Ⅰ：インプリンティング異常症

主題Ⅱ：胚細胞腫瘍

教育講演：インプリンティング異常症 鏡雅代先生

（国立成育医療研究センター分子内分泌研究部）

シンポジウム：胚細胞腫瘍の臨床と病理

演者 「仙尾部奇形腫の診断・治療・予後」 吉田真理子先生（日本赤十字社医療センター小児外科）

「胚細胞腫瘍、最近の知見」 岩淵英人先生（国立成育医療研究センター病理診断部）

○日本病理学会から専門医資格更新時の生涯学習単位（参加5単位、筆頭発表2単位）が認められています。

〈演題お申し込み〉

演題名（主題か一般演題かを明記）、出題者、所属名、抄録（600字以内）をMS wordファイルまたはテキストファイル形式にて、下記メールアドレスにお送りください。発表形式：Microsoft Office Power Point 2007/2010（Windows）を予定しております。

申し込み締め切り **2015年8月7日（日）必着**

抄録送付先：

国立成育医療研究センター 臨床検査部／小児血液・腫瘍研究部

松岡 健太郎

電話：03-3416-0181

E-mail: matsuoaka-k@ncchd.go.jp

・8月28日（金）には同じ会場で小児腫瘍症例検討会を開催します。

・症例検討会終了後、合同懇親会を開催します。ふるってご参加ください。

## 3. 2015年度日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会症例検討会（小児腫瘍症例検討会）開催のご案内

小児腫瘍症例検討会を、第35回日本小児病理研究会の開催に合わせて下記のとおり開催いたします。本会では稀な小児腫瘍や診断困難例のみでなく、典型的な腫瘍も呈示されます。症例のプレパラートを当日も閲覧可能で、その所見をもとに討議する会で、病理医のみでなく、小児腫瘍に関心をもたれている臨床医にも広く公開されています。

○病理専門医資格の更新用点数が認められます（参加5単位、筆頭発表2単位）。

主催：日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会

日時：2015年8月28日（金）13時30分～18時（予定）

場所：国立成育医療研究センター 教育研修棟

（案内図は4面に掲載してあります）

1) 2015年度小児腫瘍症例検討会（例年約25症例）

2) 教育講演：ラブドイド腫瘍の病理診断：INI1-deficient tumorとrhabdoid feature up-to-date 九州大学大学院 医学研究院 形態機能病理学 孝橋賢一先生

3) 参加費：1,000円

参加お申し込み・お問い合わせ先：

〒232-8555 横浜市南区六ッ川2-138-4

神奈川県立こども医療センター 病理診断科

田中水緒

電話：045-711-2351

E-mail:mio@zc4.so-net.ne.jp

## 4. 地区集会のお知らせ

第74回 関西小児病理研究会

2015年12月26日（土）午後1時30分から（予定）

於；

大阪市立総合医療センター（大会議室）

世話人；

大阪市立総合医療センター

病理診断科 井上 健先生

第131回 関東東海地区小児病理カンファレンス

2015年7月4日（土）午前10時30分から

於；

国立成育医療研究センター 教育研修棟1階大講義室

世話人；

国立成育医療研究センター病理診断部

中澤温子先生

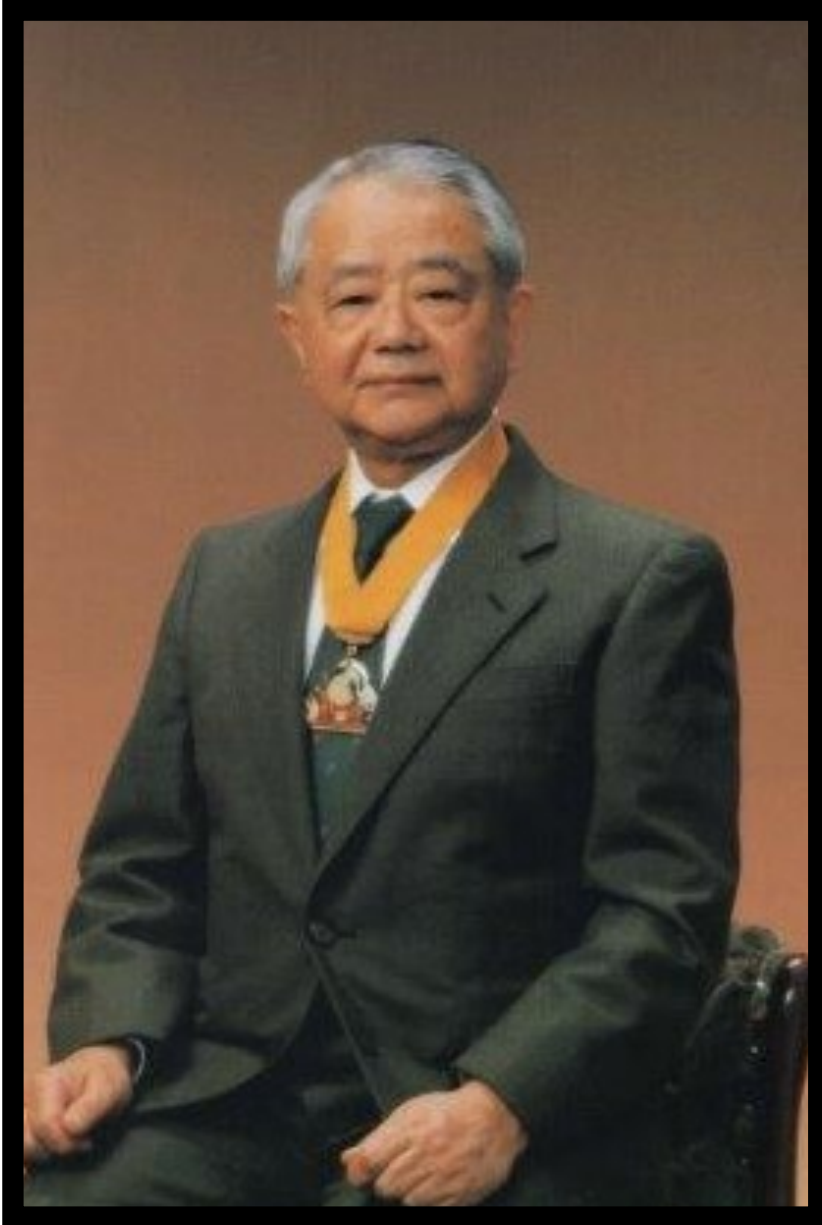
\*両研究会とも参加資格は特にありません。小児周産期病理に興味のある方のご参加をお待ちしております。

## 5. 幹事だより (3)

### 追悼 三杉和章先生

神奈川県立こども医療センター 臨床研究所 田中 祐吉

平成26年11月14日未明、三杉和章先生がご逝去されました。先生への追悼文を以て、今回の幹事だよりにて代えさせていただきます。



三杉先生は、昭和30年に横浜市立大学医学部を卒業後、座間市の米国陸軍病院でのインターン後、米国に留学され、デンバーで一般病理を研修し、コロンバス小児病院では Williams Newton Jr先生の指導を受けられました。在米中に、電子顕微鏡による超微形態学的検索も取り入れて、腫瘍を中心に小児疾患に関する多くの仕事をなされました。

帰国後の昭和45年、神奈川県立こども医療センターの開設準備室を経て、同センター初代検査科医長となり、同51年、横浜市立大学病理学第二講座教授に就任されました。医学部長も務められた在任期間中には、大学および大学病院の運営と共に、日本小児がん学会会長、世界小児病理学会会長、日本病理学会小児腫瘍組織分類委員会委員長も歴任し、日本の小児病理学の草分けとして活躍されました。故小川勝士先生と同様に、定年後も直近体調を崩されるまで

は、常に小児病理関係の会合に出席されていました。

日本を愛する一方で、常に海外に目を向ける重要性を説き、カリフォルニア大学サンディエゴ校、バンクーバーのブリティッシュコロンビア大学との提携に尽力して多くの学生・若手教員を派遣されたことは、教育面で最も記憶に残るところです。

簡素なご葬儀、お香典の医学振興財団へのご寄附などからもうかがえる清廉なお人柄で、後進がよい仕事をするを分け隔てなく喜んでくださることは、常に周囲への励ましとなっていました。そのご遺志を継ぎ、それぞれの分野で私たちが精進することが一番のご供養になることと思います。

改めてご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 6. 幹事選挙のお知らせならびに投票のお願い

本会規約により常任幹事の改選（4名）を行います。同封の投票用紙の投票欄に4名まで○を記し、同封の“小”封筒に入れた上で、返送用の封筒にて送付願います。なお返送用封筒には会員確認のためお名前をご記入下さい。

5名以上記入した場合は無効となりますのでご注意ください。

投票締め切りは2015年7月31日です（当日消印有効）。ご協力お願いいたします。

なお、今回改選となる幹事（小木曾嘉文、田中祐吉、中山雅弘、中澤温子）、留任する幹事（岸本宏志、平戸純子、藤本純一郎、北條洋）、および名誉会員・65歳以上の会員に被選挙権はありませんのでご注意ください（敬称略）。

## 7. 事務局より会費納入のお願い

### 会費納入のお願い

本会規約により、本会会費は年間5,000円となっております。納入状況に応じて、お知らせを入れております。下記振り込み口座にお振り込み願います。

会費は学術集会会場にても納入可能です。

ゆうちょ銀行

【店名】008 【店番】008

【預金種目】普通預金 【口座番号】8661284

## 成育医療研究センターへのアクセス

### バス

成育医療研究センター前、成育医療研究センターバス停下車

小田急線 成城学園前駅より 小田急バス、東急バスで約10分  
（渋谷駅、用賀駅、等々力操車所、都立大学駅北口、弦巻営業所行）

東急田園都市線 用賀駅より 約15分  
（成城学園前駅行き）

東急田園都市線 二子玉川駅より 約25分  
（成育医療研究センター、美術館行）

渋谷駅より 約40分  
（小田急バス 成城学園前駅西口、調布駅南口行）（東急バス 成城学園前駅西口行）

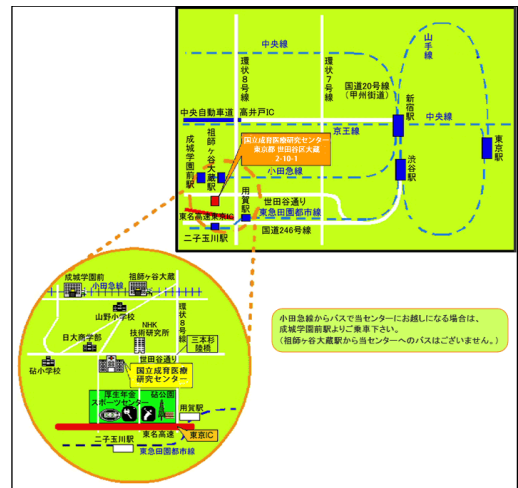
### タクシー・徒歩

小田急線 成城学園前駅南口より タクシーで5分

小田急線 祖師ヶ谷大蔵駅より 徒歩15分

\* 教育研修棟へはセンター入口より中央の庭園の園路もしくは両脇の駐車場を通り抜けてきてください。その際には車両に十分ご注意ください。

\* ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。車でご来場の方は近隣の駐車場をご利用いただくようお願いいたします。



日本小児病理研究会会報66号 2015年6月30日発行  
編集・発行 松岡健太郎 日本小児病理研究会事務局  
<http://jspp.info/>  
東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療研究センター 病理診断部  
TEL (03)3416-0181 FAX (03)5727-2879  
E-mail [matsuoka-k@ncehd.go.jp](mailto:matsuoka-k@ncehd.go.jp)